リサーチ・聞き取り・情報交換をおこなった。ニューヨークでは、NY公立図書館やコロンビ大学の図書館、ならびに独立系書店での文献調査や若手アフリカ系詩人が活躍するポエトリースラムなども取材した。アトランタではアメリカ学会の年次総会に出席して、現代黒人作家・人のテクストを取り上げたパネルやトークを聞き、発表者と情報交換することで米国での最新研究動向を理解するうえで大きな収穫を得た。予算とスケジュールの関係上、2019年にシカニMLAへの参加は見合わせた。初年度の本年は、予定どおり資料調査、情報交換に専念したが、れまでの成果を今年6月初旬に行われる日本アメリカ学会年次大会のシンポジウム「『人種』でる論争を問い直す」で発表することになっている。「21世紀アフリカ系アメリカ文学と『人		tory of Academic resources				
Author 有光, 道生(Arimitsu, Michio) Publisher 慶應義塾大学 Publication year 2020 Jtitle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.) JaLC DOI 2018年8月3日から19日まではニューヨーク、11月7日から11日までアトランタへ出張し、現地リサーチ・聞き取り・情報交換をおこなった。ニューヨークでは、N Y 公立図書館やコロンビ大学の図書館、ならびに独立系書店での文献調査や若手アフリカ系詩人が活躍するポエトリースラムなども取材した。アトランタではアメリカ学会の年次総会に出席して、現代黒人作家・人のテクストを取り上げたパネルやトークを聞き、発表者と情報交換することで米国での最新研究動向を理解するうえで大きな収穫を得た。予算とスケジュールの関係上、2019年にシカニMLAへの参加は見合わせた。初年度の本年は、予定どおり資料調査、情報交換に専念したが、れまでの成果を今年6月初旬に行われる日本アメリカ学会年次大会のシンボジウム「『人種』などる論争を問い直す」で発表することになっている。「21世紀アフリカ系アメリカ文学と『人	Title	ポスト・オバマ時代のアフリカ系アメリカ文学・文化:多様化する「黒さ」の行方				
Publisher 慶應義塾大学 Publication year 2020 Jtitle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.) JaLC DOI Abstract 2018年8月3日から19日まではニューヨーク、11月7日から11日までアトランタへ出張し、現地リサーチ・聞き取り・情報交換をおこなった。ニューヨークでは、N Y 公立図書館やコロンビ大学の図書館、ならびに独立系書店での文献調査や若手アフリカ系詩人が活躍するポエトリースラムなども取材した。アトランタではアメリカ学会の年次総会に出席して、現代黒人作家・人のテクストを取り上げたパネルやトークを聞き、発表者と情報交換することで米国での最新研究動向を理解するうえで大きな収穫を得た。予算とスケジュールの関係上、2019年にシカニMLAへの参加は見合わせた。初年度の本年は、予定どおり資料調査、情報交換に専念したが、れまでの成果を今年6月初旬に行われる日本アメリカ学会年次大会のシンポジウム「『人種』なくる論争を問い直す」で発表することになっている。「21世紀アフリカ系アメリカ文学と『人	Sub Title	African American literature in the post-Obama age : a future of diversifying "blackness"				
Publication year 2020 Jtitle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.) JaLC DOI Abstract 2018年8月3日から19日まではニューヨーク、11月7日から11日までアトランタへ出張し、現地リサーチ・聞き取り・情報交換をおこなった。ニューヨークでは、N Y公立図書館やコロンビ大学の図書館、ならびに独立系書店での文献調査や若手アフリカ系詩人が活躍するポエトリースラムなども取材した。アトランタではアメリカ学会の年次総会に出席して、現代黒人作家・人のテクストを取り上げたパネルやトークを聞き、発表者と情報交換することで米国での最新研究動向を理解するうえで大きな収穫を得た。予算とスケジュールの関係上、2019年にシカニMLAへの参加は見合わせた。初年度の本年は、予定どおり資料調査、情報交換に専念したが、れまでの成果を今年6月初旬に行われる日本アメリカ学会年次大会のシンポジウム「『人種』でで発表することになっている。「21世紀アフリカ系アメリカ文学と『人	Author	有光, 道生(Arimitsu, Michio)				
対itile 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.) JaLC DOI	Publisher	慶應義塾大学				
JaLC DOI Abstract 2018年8月3日から19日まではニューヨーク、11月7日から11日までアトランタへ出張し、現地リサーチ・聞き取り・情報交換をおこなった。ニューヨークでは、N Y 公立図書館やコロンビ大学の図書館、ならびに独立系書店での文献調査や若手アフリカ系詩人が活躍するポエトリースラムなども取材した。アトランタではアメリカ学会の年次総会に出席して、現代黒人作家・人のテクストを取り上げたパネルやトークを聞き、発表者と情報交換することで米国での最新研究動向を理解するうえで大きな収穫を得た。予算とスケジュールの関係上、2019年にシカニMLAへの参加は見合わせた。初年度の本年は、予定どおり資料調査、情報交換に専念したが、れまでの成果を今年6月初旬に行われる日本アメリカ学会年次大会のシンポジウム「『人種』でる論争を問い直す」で発表することになっている。「21世紀アフリカ系アメリカ文学と『人	Publication year	2020				
Abstract 2018年8月3日から19日まではニューヨーク、11月7日から11日までアトランタへ出張し、現地リサーチ・聞き取り・情報交換をおこなった。ニューヨークでは、NY公立図書館やコロンビ大学の図書館、ならびに独立系書店での文献調査や若手アフリカ系詩人が活躍するポエトリースラムなども取材した。アトランタではアメリカ学会の年次総会に出席して、現代黒人作家・人のテクストを取り上げたパネルやトークを聞き、発表者と情報交換することで米国での最新研究動向を理解するうえで大きな収穫を得た。予算とスケジュールの関係上、2019年にシカニMLAへの参加は見合わせた。初年度の本年は、予定どおり資料調査、情報交換に専念したが、れまでの成果を今年6月初旬に行われる日本アメリカ学会年次大会のシンポジウム「『人種』でる論争を問い直す」で発表することになっている。「21世紀アフリカ系アメリカ文学と『人	Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)				
リサーチ・聞き取り・情報交換をおこなった。ニューヨークでは、NY公立図書館やコロンビ大学の図書館、ならびに独立系書店での文献調査や若手アフリカ系詩人が活躍するポエトリースラムなども取材した。アトランタではアメリカ学会の年次総会に出席して、現代黒人作家・人のテクストを取り上げたパネルやトークを聞き、発表者と情報交換することで米国での最新研究動向を理解するうえで大きな収穫を得た。予算とスケジュールの関係上、2019年にシカニMLAへの参加は見合わせた。初年度の本年は、予定どおり資料調査、情報交換に専念したが、れまでの成果を今年6月初旬に行われる日本アメリカ学会年次大会のシンポジウム「『人種』でる論争を問い直す」で発表することになっている。「21世紀アフリカ系アメリカ文学と『人	JaLC DOI					
005年のハリーケーン・カトリーナのサバイバーでもあり、若くして全米図書賞を2度も受賞しいるジェスミン・ワード(1977-)が、2012年のトレイヴォン・マーティン殺害事件に対する答として編纂したアンソロジー『次は業火だ』(2014)を取り上げる。このアンソロジーを手かりに、今を生きる黒人作家や詩人たちが、これまでのアフリカ系アメリカ文学・文化の遺産ら、どのようなテーマやスタイルを選び、継承し、発展させているのか、また反対に、その伝から逸脱している/しようとしているのかを考察したい。 In the first year supported by this funding, I spent, as planned, my time and energy on archival research and exchanging information with specialists and artists. This coming June, I will begin share some of the findings of my current research at the annual meeting of the Japan Americar Studies Association. During its symposium entitled "Reconsidering the Debate on 'Race," I plat giving a talk entitled "A Symptomatic Reading of Fire This Time: A New Generation Speaks of Race" (2014). By closely reading this anthology, edited by Jesmyn Ward (1977-), the young without it is a survivor of the hurricane Katrina and a two-time winner of the National Book Award, in response to the tragic shooting of Trayvon Martin in 2012, I will try to demonstrate how some African American authors are choosing and not choosing certain themes and styles that have come to be identified as distinctly "African American." I would like to give the audience a chance think deeply about whether and how these black authors are embracing or rejecting the African American literary tradition.		In the first year supported by this funding, I spent, as planned, my time and energy on archival research and exchanging information with specialists and artists. This coming June, I will begin to share some of the findings of my current research at the annual meeting of the Japan American Studies Association. During its symposium entitled "Reconsidering the Debate on 'Race," I plan on giving a talk entitled "A Symptomatic Reading of Fire This Time: A New Generation Speaks of Race" (2014). By closely reading this anthology, edited by Jesmyn Ward (1977-), the young writer who is a survivor of the hurricane Katrina and a two-time winner of the National Book Award, in response to the tragic shooting of Trayvon Martin in 2012, I will try to demonstrate how some African American authors are choosing and not choosing certain themes and styles that have come to be identified as distinctly "African American." I would like to give the audience a chance to think deeply about whether and how these black authors are embracing or rejecting the African				
Notes	Notes					
Genre Research Paper	Genre	Research Paper				
URL https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-2018014	URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180140				

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2018 年度 学事振興資金 (個人研究) 研究成果実績報告書

研究代表者	所属	法学部	職名	准教授	- 補助額	500 (特B)千円
	氏名	有光 道生	氏名 (英語)	Michio Arimitsu		300 (14D)+H

研究課題 (日本語)

ポスト・オバマ時代のアフリカ系アメリカ文学・文化:多様化する「黒さ」の行方

研究課題 (英訳)

African American Literature in the Post-Obama Age: A Future of Diversifying "Blackness"

1. 研究成果実績の概要

2018 年 8 月 3 日から 19 日まではニューヨーク、11 月 7 日から 11 日までアトランタへ出張し、現地でリサーチ・聞き取り・情報交換をおこなった。ニューヨークでは、NY公立図書館やコロンビア大学の図書館、ならびに独立系書店での文献調査や若手アフリカ系詩人が活躍するポエトリー・スラムなども取材した。アトランタではアメリカ学会の年次総会に出席して、現代黒人作家・詩人のテクストを取り上げたパネルやトークを聞き、発表者と情報交換することで米国での最新の研究動向を理解するうえで大きな収穫を得た。予算とスケジュールの関係上、2019 年にシカゴで MLA への参加は見合わせた。初年度の本年は、予定どおり資料調査、情報交換に専念したが、これまでの成果を今年 6 月初旬に行われる日本アメリカ学会年次大会のシンポジウム「『人種』をめぐる論争を問い直す」で発表することになっている。「21 世紀アフリカ系アメリカ文学と『人種』の再定義:『次は業火だ:新世代が人種について語る』の兆候的読解」と題した本講演では、2005 年のハリーケーン・カトリーナのサバイバーでもあり、若くして全米図書賞を 2 度も受賞しているジェスミン・ワード(1977-)が、2012 年のトレイヴォン・マーティン殺害事件に対する応答として編纂したアンソロジー『次は業火だ』(2014)を取り上げる。このアンソロジーを手がかりに、今を生きる黒人作家や詩人たちが、これまでのアフリカ系アメリカ文学・文化の遺産から、どのようなテーマやスタイルを選び、継承し、発展させているのか、また反対に、その伝統から逸脱している/しようとしているのかを考察したい。

2. 研究成果実績の概要(英訳)

In the first year supported by this funding, I spent, as planned, my time and energy on archival research and exchanging information with specialists and artists. This coming June, I will begin to share some of the findings of my current research at the annual meeting of the Japan American Studies Association. During its symposium entitled "Reconsidering the Debate on 'Race,'" I plan on giving a talk entitled "A Symptomatic Reading of Fire This Time: A New Generation Speaks of Race" (2014). By closely reading this anthology, edited by Jesmyn Ward (1977–), the young writer who is a survivor of the hurricane Katrina and a two-time winner of the National Book Award, in response to the tragic shooting of Trayvon Martin in 2012, I will try to demonstrate how some African American authors are choosing and not choosing certain themes and styles that have come to be identified as distinctly "African American." I would like to give the audience a chance to think deeply about whether and how these black authors are embracing or rejecting the African American literary tradition.

3. 本研究課題に関する発表							
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)				
有光道生	「21 世紀アフリカ系アメリカ文学と 『人種』の再定義:『次は業火だ:新 世代が人種について語る』の兆候 的読解」	日本アメリカ学会	2019年6月1日(予定)				